

目 次

フランス語の文字と発音	2	
§ 1 アルファベ	§ 2 発音記号	§ 3 つづり字の発音
§ 4 リエゾン, アンシェヌマン, エリジオン		
〈 第1部 〉		
Leçon 1 命令文	8	
§ 1 3つの命令形	§ 2 命令形の作り方	§ 3 否定命令形と命令文の発展
Leçon 2 冠詞と名詞	10	
§ 1 名詞の数と性	§ 2 冠詞の種類と用法	§ 3 Voilà ~ / Voici ~
Leçon 3 主語人称代名詞, -er 動詞の活用	13	
§ 1 命令文と平叙文	§ 2 主語人称代名詞	§ 3 動詞の不定法 (infinitif)
§ 4 動詞の活用－第1群規則動詞の現在		§ 5 否定文
§ 6 疑問文	§ 7 否定疑問に対する答え	
Leçon 4 動詞 être, 前置詞と定冠詞の縮約, 所有形容詞	18	
§ 1 être の活用	§ 2 C'est ~ / Ce sont ~	§ 3 前置詞 de, à と定冠詞の縮約
§ 4 所有形容詞		
Leçon 5 形容詞	22	
§ 1 形容詞の変化	§ 2 形容詞の位置	§ 3 指示形容詞
§ 4 疑問形容詞 quel		
Leçon 6 動詞 avoir, 否定の de, 程度と数量, -ir 動詞	25	
§ 1 avoir の活用	§ 2 avoir を用いた表現	§ 3 否定の de
□ 動詞 être, avoir の命令形	§ 4 程度と数量の表わし方	
§ 5 finir の活用	§ 6 partir の活用	□ 基本文型
Leçon 7 動詞 aller / venir / faire, 疑問代名詞 qui / que	30	
§ 1 aller の活用	§ 2 venir の活用	§ 3 疑問代名詞 qui, que
§ 4 faireの活用と用法	□ 前置詞 (1) — 〈場所〉の表現	
Leçon 8 近接未来・近接過去, 動詞 pouvoir 他, 疑問副詞, 非人称構文	34	
§ 1 近接未来・近接過去	§ 2 動詞 pouvoir, vouloir, devoir	
§ 3 その他の不規則動詞 — 辞書で不規則動詞の活用を調べる方法		
§ 4 疑問副詞 où, quand, comment, combien, pourquoi	§ 5 非人称構文	
Leçon 9 複合過去	38	
§ 1 過去分詞	§ 2 複合過去の形	§ 3 複合過去の用法
§ 4 疑問文と否定文の作り方		□ 前置詞 (2) — 〈時〉の表現

Leçon 10	目的語人称代名詞と強勢形	42
§ 1	目的語人称代名詞の位置	§ 2 直接目的語となる人称代名詞
§ 3	間接目的語となる人称代名詞	§ 4 命令文での語順
§ 5	直接目的語と間接目的語の人称代名詞を併用する場合の語順	
§ 6	強勢形	
Leçon 11	代名動詞	47
§ 1	代名動詞とは？	§ 2 代名動詞の現在形
§ 3	代名動詞の用法	§ 4 代名動詞の複合過去
Appendice 1	数字・月・曜日・季節	50

〈 第2部 〉

Leçon 12	半過去	52
§ 1	半過去の形	§ 2 半過去の用法
Leçon 13	形容詞・副詞の比較級、最上級	55
§ 1	比較級	§ 2 最上級
	□ 前置詞（3）—さまざまな用法	§ 3 特殊な比較級・最上級
Leçon 14	中性代名詞、関係代名詞、強調構文	58
§ 1	中性代名詞	§ 2 関係代名詞 qui, que, dont, où
		§ 3 強調構文
Leçon 15	直説法大過去、受動態、現在分詞とジェロンディフ	60
§ 1	直説法大過去	§ 2 受動態
		§ 3 現在分詞 (participe présent)
	§ 4 ジェロンディフ (gérondif)	
Leçon 16	直説法単純未来と前未来	62
§ 1	直説法単純未来	§ 2 直説法前未来
Leçon 17	条件法現在・過去	63
§ 1	条件法現在	§ 2 条件法過去
	□ 3つの仮定、仮定節の独立的用法	
Leçon 18	接続法現在・過去	65
§ 1	接続法現在	§ 2 接続法過去
		§ 3 接続法の用法
Leçon 19	話法、時制の一致	67
§ 1	直接話法と間接話法	§ 2 時制の一致
		§ 3 間接疑問文
Leçon 20	直説法単純過去と前過去	68
§ 1	直説法単純過去	§ 2 直説法前過去
Appendice 2	指示代名詞、疑問代名詞 lequel, 所有代名詞、前置詞をともなう関係代名詞など	69

注記：□印は囲み欄を示す。

《記号の説明》 ◆ : 小項目を示す — : 簡易な練習問題
 * : 補足説明を示す +α : 少し進んだ内容で、取捨選択が必要な項目

フランス語の文字と発音

§ 1 アルファベ ⑩

フランス語は、英語と同じように **alphabet**（フランス語で“アルファベ”）を使って書きますが、文字の読み方（発音）は異なります。

A a	[a]	B b	[be]	C c	[se]	D d	[de]	E e	[ə]	F f	[ɛf]
G g	[ʒe]	H h	[aʃ]	I i	[i]	J j	[ʒi]	K k	[ka]	L l	[ɛl]
M m	[ɛm]	N n	[ɛn]	O o	[o]	P p	[pe]	Q q	[ky]	R r	[ɛr]
S s	[ɛs]	T t	[te]	U u	[y]	V v	[ve]	W w	[dubləve]		
X x	[iks]	Y y	[igrek]	Z z	[zed]						

* 基本的に a, e, i, o, u, y の 6 文字で母音を、残りの文字で子音を表記する。

◆ つづり字記号

フランス語は、26 文字の alphabet の他にさらに、以下に示すつづり字記号を使って書かれます。例えば、ou (= 英 or) と où (= 英 where) は、まったく別の単語です。

ˊ accent aigu	: é がある。é の発音が [e] となる。ex. café
ˋ accent grave	: à, è, ù がある。(è の場合、発音が [ɛ] であることを示す。) ex. voilà, mère, où
^ accent circonflexe	: â, î, û, ê, ô がある。ex. tête, sûr
.. tréma	: ï, ë, ü がある。ex. Noël
¸ cédille	: ç のみ。発音が [s] となる。ex. français

◆ 音節

フランス語の発音は、基本的に「ローマ字読み」できますが、そのためには語を音節（シラブル）に区切ります。当然、<ca/fé> のように子音字の前で区切りますが、区切れない場合があります。その場合、<fran/çais> のように子音字の間で区切ります。ただし「子音字 + <r/l>」は 1 子音として扱います。<ta/ble> の例がそうです。そしてローマ字のように「母音字で終わる音節」を開音節、ローマ字とは違う「子音字で終わる音節」を閉音節と呼びます。

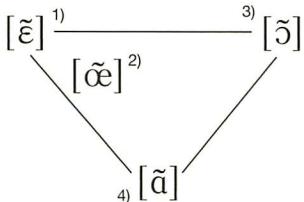
§2 発音記号 ③

フランス語は母音12, 鼻母音4, 半母音3, 子音17, 合計36の音(音素)でできています。

1) 母音

舌先の位置 唇の形	前寄り		後ろ寄り
	左右に引き締める	丸めて突き出す	
狭く 口の開き 広く	[i] ¹⁾ ————— [y] ⁹⁾ ————— [u] ⁵⁾ \———— [e] ²⁾ ————— [ø] ¹⁰⁾ ————— [o] ⁶⁾ \———— [ɛ] ³⁾ ————— [œ] ¹¹⁾ ————— [ɔ] ⁷⁾ \———— [a] ⁴⁾ ————— [ɑ] ⁸⁾		番号は録音される順番を示す。

2) 鼻母音



* [œ̃] が [ɛ̃] に吸収される傾向にある。

3) 半母音

[j]	: piano [pjano]	travail [travaj]
[w]	: oui [wi]	loi [lwa]
[ɥ]	: lui [lɥi]	nuage [nɥaʒ]
[jɛ̃]	: bien [bjɛ̃]	
[wɛ̃]	: coin [kwɛ̃]	

4) 特徴的な子音

[ʒ]	: Georges [ʒɔʁʒ]
[ɲ]	: signal [sijal]
[r]	: merci [mersi]
	montagne [mɔ̃tagn]
	rose [roz]

§ 3 つづり字の発音 ⑩

フランス語のつづり字と発音の関係には、規則性があります。

1) 単独の母音字の読み方

a, à, â	[a / a]	salon	[salɔ̃]	là-bas	[labas]	âge	[aʒ]
i, î, y	[i]	ici	[isi]	île	[il]	style	[stil]
e	[無音] 語末で	âme	[am]	nature	[natyr]	vie	[vi]
	[ə] 開音節で	cela	[səla]	demi	[dəmi]	melon	[məlɔ̃]
	[e / ε] 閉音節で	nez	[ne]	des	[de]	service	[sərvis]
é	[e]	été	[ete]	bébé	[bebɛ]		
è, ê	[ε]	père	[per]	être	[etr]		
o, ô	[o / o]	mot	[mo]	joli	[ʒɔli]	côte	[kot]
u, û	[y]	tu	[ty]	flûte	[flyt]		

2) 連続した母音字の読み方

◆ 全体で1個の母音をあらわすつづり

ai, ei	[ɛ]	saison	[sɛzɔ̃]	Seine	[sɛn]
au, eau	[o]	aussi	[osi]	beau	[bo]
eu, œu	[ø / œ]	deux	[dø]	sœur	[soer]
ou, où	[u]	doux	[du]	où	[u]

*連続するoとeが1音を表す場合、合字œを用いる。

◆ 半母音を伴うつづり

oi	[wa]	moi	[mwa]	oiseau	[wazo]
i, u, ou + 母音字	[半母音+母音]	piano	[pjano]	nuit	[nũ]
ay, oy, uy	[ɛj, waj, uj]	crayon	[krejɔ̃]	voyage	[vwajaʒ]
子音字 ill	[ij]	fille	[fi]	appuyer	[apɥije]
	例外 :	mille	[mil]	famille	[famij]
母音字 + il, ill	[母音+j]	travail	[travaj]	papillon	[papijɔ̃]
		soleil	[sɔlej]	ville	[vil]
		bouillon	[buʒɔ̃]	など	

3) 母音字 + n, m の読み方（鼻母音）

an, am, en, em	[ã]	France	[frãs]	enfant	[ãfã]	temple	[tãpl]
on, om	[õ]	bon	[bõ]	Japon	[ʒapõ]	nom	[nõ]
in, im, ain, aim,	[ɛ̃]	vin	[vɛ̃]	simple	[sɛpl]	bain	[bɛ̃]
ein, eim, yn, ym		peinture	[pẽtyr]	symphonie	[sẽfɔni]		
un, um	[œ̃]	un	[œ̃]	lundi	[lœdi]	parfum	[parfœ̃]

4) 注意すべき子音字の発音 ⑩

- ◆ 語末の子音字 : c, f, l, r は発音されることがあります、それ以外の子音字は原則として発音しません。

発音しない c, f, l, r	coup [ku]	mot [mo]	pas [pa]	paix [pε]
	parc [park]	neuf [nœf]	mal [mal]	fleur [flœr]

- ◆ その他

l	[l]	long [lɔ̃]	laine [lɛn]	balle [bal]
r	[r]	rond [rɔ̃]	reine [ʁɛn]	bar [bar]
c (+ a, o, u)	[k]	café [kafε]	encore [ẽkɔr]	cuisine [kɥizin]
(+ e, i, y)	[s]	cent [sã]	ciel [sjεl]	cycle [sikl]
ç	[s]	ça [sa]	garçon [garsɔ̃]	déçu [desy]
g (+ a, o, u)	[g]	gare [gar]	gorge [gɔrʒ]	légume [legym]
(+ e, i, y)	[ʒ]	page [paʒ]	gilet [ʒile]	gymnastique [ʒimnastik]
h	[無音]	hôtel [otel]	histoire [istwar]	dehors [dəɔr]
ch	[ʃ]	chanson [ʃãsɔ̃]	marché [marʃe]	poche [poʃ]
ph	[f]	photo [fɔto]	pharmacie [farmasi]	
rh	[r]	rhume [rym]	Rhône [ron]	
gn	[ɲ]	signe [sij]	cognac [kɔnãk]	magnifique [majifik]
th	[t]	thé [te]	mythe [mit]	cathédrale [katedral]
qu	[k]	qui [ki]	quand [kã]	question [kɛstjɔ̃]
母音字 + s + 母音字	[z]	désert [dezɛr]	poison [pwazɔ̃]	
ss	[s]	dessert [desɛr]	poisson [pwasɔ̃]	

§ 4 リエゾン, アンシェヌマン, エリジオン ⑩

1) 2種類のh

フランス語では h の文字はいかなる場合も発音されず、無音です。にもかかわらず、語頭の h は2種類に区別されています。

〈無音の h 〉 h muet	→ 母音字で始まる扱い	例 : homme heure
〈気音の h 〉 h aspiré	→ 子音字で始まる扱い	例 : héros harpe

〈無音〉か〈気音〉かは、意味や形から識別はできません。辞書で調べれば、〈気音の h 〉には特定の印（見出し語の前の †, 発音記号の前の [']など）が付いています。〈気音の h 〉の前では、以下に述べるリエゾン, アンシェヌマン, エリジオンは起こりません。

2) リズム・グループ

フランス語の文は、動詞と名詞が中核になっています。「主語代名詞+動詞」や「冠詞+名詞」は、意味上の単位をなしており、一息で読まれるリズム・グループを形成します。文を読む場合、リズム・グループに分けて、各リズム・グループの最終母音を他の母音よりも<強く長めに>読む必要があります。

3) 母音字あるいは無音のhで始まる語の前で

リズム・グループは一息で読れます。そこでリエゾン、アンシェヌマン、エリジオンが起こります。

◆ リエゾン (liaison)

〈発音されない語末の子音字〉が〈次の単語の語頭の母音〉と結びつき、1音節になつて発音されます。この現象をリエゾン(連音)と言います。

un arbre [œ-narbr] **des images** [de-zi-maʒ] **nous avons** [nu-za-vɔ̃]

リエゾンは、〈冠詞+名詞〉、〈主語代名詞+動詞〉のように、意味的な結びつきの強い単語の間でしか行われません。

◆ アンシェヌマン (enchaînement)

〈発音される語末の子音字〉が〈次の単語の語頭の母音〉と結びつき、1音節になつて発音されます。これをアンシェヌマン(連讀)と言います。

une amie [y-na-mi] **il arrive** [i-la-riv] **avec elle** [a-vε-kεl]

◆ エリジオン (élosion)

ce, de, je, la, le, me, ne, que, se, si*, te は、語末の -e, -a が省略されてアポストロフ(')が付き、次にくる単語と結合されます。この現象をエリジオン(母音字省略)といい、次の語と続けて1つの単語のように発音します。

*si は代名詞 il (s) の前でのみ → s'il(s)

ce est → c'est [sε] la école → l'école [le-kɔl] le homme → l'homme [lɔm]
ただし le héros [lə ero]

4) 文を読む練習

文を // でリズム・グループに分け、最終母音のある音節に__を付けました。高低の抑揚を付けながら、先生と一緒に繰り返して読み、フランス語のリズムを覚えましょう。

1 音節の語以外、基本的に《語末の e は発音しない》ので注意しましょう。

1 Mika // arrive.

2 Mika // arrive // à Paris.

3 Elle arrive // à Paris // demain.

4 Elle arrive // à Paris // demain // et elle visite // le musée du Louvre.

(英語のandに相当するetの前でリズム・グループを区切り、etの後ではリエゾンしない)

フランス語文法学習の第一歩を、命令文から始めます。命令文は動詞1語だけでも作れる最も簡単な文だからです。

§ 1 3つの命令形 ⑦

「入る」(英 enter, come in) という動詞を例に取ると、「入る」はフランス語では、entrer (不定法☆) ですが、次のように3種類の命令形があります。

☆ 不定法：英語でいう動詞の「原形」にあたり、辞書で引くときの形。

entrer [ãtre]	(1) Entrez.	[ãtre]	お入り下さい。
	(2) Entre.	[ãtr]	入って。
	(3) Entrons.	[ãtrõ]	入ろう。

- (1) あまり親しくない人（単数）、あるいは、複数の相手に対し用いる命令形。
- (2) 家族や友人など、親しい人（単数）に対して用いる命令形。
- (3) 英語の〈Let's + 動詞〉の形の表現は、フランス語では動詞1語で表現し、命令形として扱う。

§ 2 命令形の作り方

entrer の命令形は、不定法の語尾 -er を変化させて作ります。entrer の3つの命令形は、次の様な語尾変化の規則でできています。

— er [-e]	(1) — ez	[-e]
	(2) — e	[-]
	(3) — ons	[-õ]

この命令形の語尾変化の規則は、不定法の語尾が、-er で終わるほとんどすべての動詞に適用されます。

EXERCICE 1 次の動詞の意味を辞書で調べ、3つの命令文を作り、発音しなさい。⑧

- | | | | | |
|-------------|------------|-----|-----|-----|
| 1) chanter | () | (1) | (2) | (3) |
| 2) parler | () | (1) | (2) | (3) |
| 3) écouter | () | (1) | (2) | (3) |
| 4) marcher | () | (1) | (2) | (3) |
| 5) regarder | () | (1) | (2) | (3) |

EXERCICE 2 次の命令文の意味を理解し、比較し、発音しなさい。⑩

- 1) Ecoutez, Mademoiselle Dubois.
- 2) Parle fort, Marie.
- 3) Regardez bien, Madame.
- 4) Monsieur Suzuki, entrez, s'il vous plaît.
- 5) Jean, marche vite.
- 6) Chantons ensemble.

§ 3 否定命令形と命令文の発展 ⑪

(1) 「～しないで下さい、～するな」といった禁止を示す否定命令文は、命令形の動詞の前後を *ne* と *pas* ではさんで作ります。

Ne fumez pas ici. ここで煙草を吸わないでください。
(fumer 煙草を吸う, ici ここ)

Ne quittez pas. [電話を] 切らないで下さい。

(2) 命令形の動詞の後に目的語などを置けば、いろいろな表現ができます。

Ecoutons le Président. 大統領の話を聞きましょう。

Regardez le tableau. 黒板を見てください。

Ne regardez pas trop la télévision. テレビを見すぎないで下さい。

(le, la はフランス語の定冠詞、次の課で学習します。)

EXERCICE 3 次の動詞の意味を辞書で調べ、3つの形で否定命令文を作りなさい。⑫

- 1) danser () (1) (2) (3)
- 2) bavarder () (1) (2) (3)
- 3) travailler trop () (1) (2) (3)

EXERCICE 4 この課で学習したことを応用して、作文しなさい。⑬

- 1) 動く (bouger) な。
- 2) 繰り返して (répéter) 下さい。
- 3) ポール (Paul), ラジオ (la radio) を聞けよ。
- 4) 速く歩かないで下さい。
- 5) フランス語で (en français) 話しましょう。
- 6) 一緒に帰り (rentrer) ましょう。

フランス語の冠詞と名詞には、単数・複数があるだけでなく、男性・女性という区別があります。冠詞を付けずに名詞を用いる場合は特別で、文中では多くの場合、名詞は冠詞を伴って使用されると覚えましょう。

§ 1 名詞の数と性 ⑬

(1) 名詞には単数 *singulier* (略号 = *s.*) と複数 *pluriel* (略号 = *pl.*) の区別があります。

原則として、単数形に *s* を付ければ複数形になります。ただし、この語末の *s* は発音されません。

単数	livre [livr]	maison [mεzɔ̃]
複数	livres [livr]	maisons [mεzɔ̃]

* *pays* (国), *voix* (声), *nez* (鼻)など、-s / -x / -z で終わる名詞は、そのままで単数形にも複数形にも用いる。

♠ 次のような名詞の複数形は変則的です。辞書で複数形を見つけましょう。

cheval → **gâteau** → **travail** →

(2) 名詞は、男性 *masculin* (略号 = *m.*) と女性 *féminin* (略号 = *f.*) に分かれます。性の区別は文法上の約束事で、つづりや意味からは判別できないことが多いので、知りたいときは辞書を見ます。

♠ 次の名詞を調べて、() に略号で性を、下線部には意味を書きなさい。

chanson () _____ **soleil** () _____ **café** () _____
amour () _____ **mère** () _____ **ami** () _____

§ 2 冠詞の種類と用法

(1) 3種類の冠詞

英語の冠詞は「定冠詞」と「不定冠詞」の2種類ですが、フランス語にはさらに「部分冠詞」と呼ばれる冠詞があります。これらの冠詞は、名詞の性・数に応じて形が変わるので、その名詞に合った形を使わなければなりません。

3種類の冠詞は以下のとおりです。

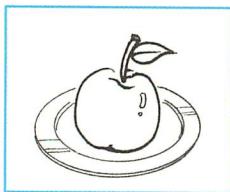
	男性・単数	女性・単数	男性女性・複数
不定冠詞	un	une	des
部分冠詞	du (de l')	de la (de l')	×
定冠詞	le (l')	la (l')	les

* () 内の形は、母音字あるいは無音の *h* で始まる名詞の前で用いる。

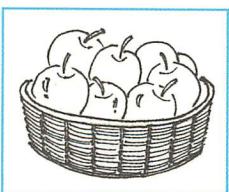
例 : **de l'argent** **de l'eau**
l'avion **l'école**

(2) 不定冠詞と部分冠詞

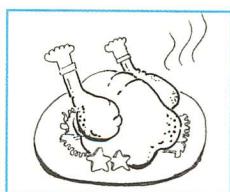
不定冠詞は1個、2個と数えられるものごとを表す名詞の前、部分冠詞は1個、2個とは数えられない、つまり普通は複数形にならない名詞の前で使います。



une pomme



des pommes



de la viande



du café

<具体的な量を示す場合>

EXERCICE 1 次の名詞の意味と性を調べ、()に不定冠詞または部分冠詞を入れなさい。

- 1) () chien 2) () beurre 3) () eau
4) () lunettes 5) () femme 6) () courage

(3) 定冠詞

数えられるものでも、数えられないものでも、次のような場合には定冠詞を用います。

- ① すでに話題にのぼったもの。
② 状況や前後関係から、どれを指しているかわかる場合。
③ その名詞が指示するもの全体をあらわす場合（総称「～というもの」）。
④ 一つしか存在しないもの。

EXERCICE 2 次の名詞の意味と性を調べ、()に適切な定冠詞を入れなさい。

- 1) () voiture 2) () examen 3) () oiseaux
4) () homme 5) () film 6) () fleurs

EXERCICE 3 次のような文で名詞に冠詞を付けるとしたら、どの冠詞が適當か、前出の冠詞表から選んで()に入れなさい。

(m. 男性名詞, f. 女性名詞, pl. 複数)

- 1) 昔々、インドのある山 () montagne [f.] に、虎 () tigre [m.] と 象 () éléphant [m.] がいました。虎 () tigre は森へ獲物を取りに、象 () éléphant は川へ水を飲みに行きました。
- 2) 月 () lune [f.] が出た。酒 () saké [m.] は好きかい。じゃあ、酒 () saké を飲もう。
- 3) 私はこの春、神戸のある大学 () université [f.] に入学した。大学 () université の近くには、寺 () temple [m.] がある。大学の校舎 () bâtiments [m. pl.] は、すべて素晴らしい、学生たち () étudiants [m. pl.] も皆、はつらつとしている。

§ 3 Voilà ~ / Voici ~ ⑯

Voilà ~ と Voici ~ は、日常的によく使われる表現です。後にくる名詞が単数形でも複数形でも形は変化しません。単に「在る」というだけでなく、話者の目の前にある人や物を相手に提示するために使います。

Voici Sophie, une amie.

Voilà un dictionnaire.

*ただし、遠近の対立があるときには、近いものを voici で、遠いものを voilà で提示する。

Voilà un téléphone public et voici une télécarte.

EXERCICE 4 自分の持ち物を提示して、口頭練習をしましょう。

例 : Voilà un porte-mine. (シャープペンシル)

montre (f.) 腕時計 mouchoir (m.) ハンカチ portable (m.) 携帯電話

gomme (f.) 消しゴム crayon (m.) 鉛筆 cahier (m.) ノート

EXERCICE 5 例にならって、適切な不定冠詞か定冠詞を()に入れなさい。⑯

例 : Voilà (un) sac. C'est[☆] (le) sac de Sylvie.

☆ C'est ~ は「これ、あれは～です。」の意。

- 1) Voilà () tour. C'est () Tour Eiffel.
- 2) Voilà () château. C'est () Château de Versailles.
- 3) Voici () Arc de Triomphe. Et voilà () Avenue des Champs-Elysées.
- 4) Voilà () Musée d'Orsay. Voici () Seine.

EXERCICE 6 必要な冠詞を入れなさい。

- 1) Voilà () école. C'est () école de Jean.
- 2) Voici () père de Pierre et voilà () mère d'Anne.
- 3) Voici () pain et voilà () gâteaux.
- 4) Voici () viande et voilà () poisson.
- 5) Voilà () appartement de Marie.

Ici[☆], c'est () cuisine et là, c'est () salon.

☆ ici 「ここ」, là 「そこ」